

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-510438 (P2005-510438A)

【公表日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報 2005-016

【出願番号】特願 2003-547308 (P2003-547308)

【国際特許分類】

C 0 1 G 30/00 (2006.01)

B 0 1 J 13/00 (2006.01)

C 0 9 D 4/02 (2006.01)

C 0 9 D 5/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 133/04 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

【F I】

C 0 1 G 30/00

B 0 1 J 13/00 Z

C 0 9 D 4/02

C 0 9 D 5/00 Z

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 133/04

C 0 9 D 201/00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 31 日 (2005.8.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水性コロイド分散液形態にある複数の T i / S b 混合酸化物ナノ粒子を含む組成物であって、前記 T i / S b 混合酸化物ナノ粒子がルチル様結晶相を含み、前記 T i / S b 混合酸化物ナノ粒子中のチタン対アンチモンの質量比が、0.42 ~ 11.30 の範囲内にある組成物。

【請求項 2】

ナノ粒子凝集体を含む組成物であって、前記ナノ粒子凝集体が、ルチル様結晶相を含む T i / S b 混合酸化物ナノ粒子を含み、前記 T i / S b 混合酸化物ナノ粒子中のチタン対アンチモンの質量比が、0.42 ~ 11.30 の範囲内にある組成物。

【請求項 3】

有機バインダー前駆体中に均一に分散した複数のナノ粒子を含むナノ複合体前駆体であって、前記ナノ粒子が、ルチル様結晶相を含む T i / S b 混合酸化物ナノ粒子を含み、前記 T i / S b 混合酸化物ナノ粒子中のチタン対アンチモンの質量比が、0.42 ~ 11.30 の範囲内にあるナノ複合体前駆体。

【請求項 4】

有機バインダー中に分散した複数のナノ粒子を含むナノ複合体であって、前記ナノ粒子が、ルチル様結晶相を含む T i / S b 混合酸化物ナノ粒子を含み、前記 T i / S b 混合酸

化物ナノ粒子中のチタン対アンチモンの質量比が、 $0.42 \sim 11.30$ の範囲内にあるナノ複合体。

【請求項5】

Ti/Sb混合酸化物ナノ粒子の水性コロイド分散液を調製するための方法であって、

- a) 水性チタニア前駆体を準備するステップと、
- b) 水性酸化アンチモン前駆体を準備するステップと、
- c) 両方の水性前駆体を混合しながら一体化させるステップと、
- d) 前記混合物を水熱処理するステップと、

を含み、チタン対アンチモンの質量比が $0.42 \sim 11.30$ の範囲内にある方法。